

令和6年度 第3回 周南市市民参画推進審議会 会議録

1. 日 時 令和7年1月14日(火) 19時00分～20時00分
2. 場 所 周南市役所本庁舎2階 共用会議室G
3. 出席者 浅谷和枝 委員、岡崎麻衣 委員、菊地右馬 委員、桑畑洋一郎 委員、
酒井徹也 委員、新原繁 委員、沼田早紀 委員、平岡正夫 委員、
廣瀬彩乃 委員、丸山康子 委員、宮下真知子 委員、
(計11名)
3. 欠席者 井上佳明 委員、田村隆嘉 委員、山本将平 委員、山本のぞみ 委員
(計4名)
4. 事務局 地域づくり推進課 福田、神杉、柴田、福田
5. 傍聴者 なし
6. 会議内容
開 会 事務局が司会進行
・市民憲章唱和

議 事

発言者	発言内容
会 長	これより議事に入る。 (はじめに、ア) 市民参画実施状況に対する質問事項について。 前回、第2回目の審議会において事務局より提示のあった、令和5年度 周南市市民参画実施状況について、委員の皆さまから質問をいただいている。 いただいた質問等については、市民参画を実施した各施策の担当部署に対し、ヒアリング等の実施により回答を求めている。 事務局より委員からの質問及びヒアリング等の実施結果について報告をお願いしたい。
事務局	(資料2について説明)
委 員	(質問等なし)
会 長	次に、議事のイ) 令和5年度 市民参画実施状況報告書について確認を行っていく。 事務局より報告書について説明をお願いします。
事務局	(資料3について説明)
委 員	(質問等なし)

発言者	発言内容
会 長	次に、議事のウ) 市長からの諮問に対する答申について審議する。 第 1 回目の審議会において、市長より当審議会に対し三点の諮問があった。 この諮問事項について、これまでの審議会において審議を行い、委員の皆さまからいただいた評価意見、市民参画の推進に向けたご意見等を踏まえ、会長と副会長で調整を行い、資料 4 にお示しのとおり答申（案）を作成した。 なお、委員の皆さまからいただいた意見の中には、当審議会の運営に関する意見もございましたので、今後の審議会を進めるうえでの参考にさせていただく。 【資料 4 をもとに答申（案）の要点を説明】 答申（案）について、ご意見等がある方は挙手をお願いしたい。
委員 A	3 について。条例では「必要と認められるときは」複数の方法を組み合わせて実施する、とある。表現によってはかなり強い意味になる。審議会の意見として答申に掲載するのであれば、条例に沿ったほうがよいのではないか。
会 長	条例と同じ文言に変更してよいか。
	（異議なし）
委員 B	条例の話が出たが、条例が変わる可能性や条例を変える可能性はあるのか。
副会長	条例 19 条に、「市長は」と書いてあるので、見直しをするのは市ではないか。
会 長	過去に条例の見直しについて諮問があったように思う。
事務局	条例制定 10 年経過時に諮問された。その際は、時代の変化はあるが、普遍性があるということで条例改正等はない形になった。今後改正が必要となる時や、条例制定 20 年となった時に再度諮問の可能性はある。
会 長	その他の部分でご意見や質問等はあるか。
委 員	（意見なし）
会 長	市長への答申については、答申（案）を修正して進めていく。 次に、議事のエ) 市民参画の推進に向けて。 今期より新たに審議会委員となられた方、継続の委員の方、それぞれ、これまでの活動に対するご感想や、今後さらなる市民参画の推進に向けてのご意見などをお一人ずつ伺いして、本日の審議会を終えたいと思う。
委員 A	勉強になった。自身の業務に活かすとともに、市民として色々な視点で事業をみていく必要があると感じた。

発言者	発言内容
委員 B	協議をしていくなかで、やはり市民参画は大事であると感じた。
委員 C	市の政策について、市民として客観視する大切さを学んだ。
委員 D	市民の意見を聞くのに、パソコンで対応できる人、紙面がいい人等いるため、様々な手法が必要であると感じた。
委員 E	こんなにも市民が参画しているのかと驚いた。市の政策も知ることができた。
委員 F	自分の団体に反映できるとよい。
委員 G	会議に参加できてよかった。資料について、127 ページに人材育成のことが記載されている。各部局の担当者によって市民参画に対する考え方にばらつきがあると思われる。職員研修はどういう内容をするのか、それに対して、審議会が考える市民参画の推進とマッチしているのかを検討するのもいいのではないか。
委員 H	市民の意見が反映されていることを感じる。市民が自分も意見を言える場があり、市民参画が自分事になるよう周知したらいいと感じた。
委員 I	委員になって初めて市民参画が行われていることを知った。同じように、市民参画を知らない市民も多いだろう。市民参画のことを知ってみんなで意見を出し合っている市にしていきたいという気持ちになれたらいい。参加しやすく分かりやすい市民参画の体制になるとよい。
委員 J	年々市民参画が進んでいると感じる。審議内容とは別になるが、開催時間の検討をしようか。
会 長	この審議会は、委員が半数ずつ二年ごとに改選となる。ここで経験したことを、自分の組織に持ち帰って「様々な市民参画の形があるんだ」と広めていってもらえれば、今回の答申（案）に書いたように「みんなでつくるまち」が実現していくのではないだろうか。市長と話す際には、皆様の思いも伝える。皆様一年間ありがとうございました。来年度も引き続きよろしくお願いいたします。 本日の審議は以上で終了する。進行を事務局にお返す。
事務局	先ほど審議したように答申（案）を修正した上で、市長への答申は、会長・副会長で行う。 来年度もどうぞ引き続きよろしくお願いいたします。
	(閉会)